

高森町議会だより 21年

PARLIAMENTARY INFORMATION



優勝した第二分団



6月定例会	2
常任委員会報告	7
一般質問(町政を問う)	8
第4回臨時会	9
議会報告会	9
町民の声	11

高森町消防団操法大会

平成30年7月発行

No.71

6月定例会



風まる

6月 定例会



▲ 開会された6月定例会（初日）

第2回定例会は、6月7日から15日までの9日間の会期で開かれ、同意3件、予算4件、決議2件を審議し、原案どおり可決しました。

一般会計補正予算

978万円を追加

予算総額 48億189万円

補正予算の主なもの

コミュニティ助成事業（宝くじ助成金）

昭和公民館建設事業

老朽化した昭和公民館（昭和30年7月建設）を新たに建設

【現状と課題】

地域住民にとって最も身近な集会及び学習拠点というだけでなく、交流の場として重要な役割を果たしているが、老朽化が進み、雨漏りや床、柱の歪みなどが生じている。

【概要】

コミュニティ助成事業を受け、新公民館を建設する。

⇒平成13年度から公民館維持費に加え、新公民館建設のための積立金を昭和地区全戸から徴収している。

【期待される効果】

- ①位置的特性を活かした地域コミュニティ活動の拠点となる。
- ②老人会、向上会（青年団）、子ども会、婦人会等の活動が促進され、地域の交流・活性化が進む。
- ③地震、豪雨等の災害時の避難場所としても活用できる。

※平成31年3月に工事完了の予定

事業費	宝くじ助成金	町補助※	地区負担分
30,078千円	15,000千円	1,200千円	13,878千円

※：当初予算で計上済み



建設予定地

南鉄費用対効果調査業務委託

豊肥本線との接続強化策の調査・検討

南阿蘇鉄道の創造的復興をめざし、南阿蘇地域と熊本都市圏間のアクセス利便性向上を図るため、JR 豊肥本線との接続強化策に係る調査を実施

【概要】

南阿蘇鉄道の創造的復興を図り、同鉄道を軸とした持続可能な公共交通網の構築を目的として策定した「南阿蘇鉄道沿線地域公共交通網形成計画※」に基づき、南阿蘇鉄道とJR 豊肥本線との接続強化策（南阿蘇鉄道の豊肥本線乗入等）に係る、調査（効果測定、収支採算性等の精査）を実施。

※「南阿蘇鉄道沿線地域公共交通網形成計画」記載事項

【基本方針3】将来の地域住民ニーズに対応した持続可能な公共交通網の構築

■各公共交通機関の連携の強化

- ・南阿蘇鉄道とJR 豊肥本線との接続強化の検討（ダイヤの調整、立野駅での対面乗換、南阿蘇鉄道の豊肥本線乗入、豊肥本線の電化等）

【基本方針5】観光振興と一体となった公共交通網の構築

■阿蘇くじゅう観光圏や熊本都市圏等との広域観光ルートの整備

- ・南阿蘇鉄道とJR 豊肥本線との接続強化の検討（再掲）

※事業費は高森町と南阿蘇村で1/2ずつ負担

事業費	町負担分	南阿蘇村負担分
10,000千円	5,000千円	5,000千円



高森東学園校区児童見守り事業

高森東学園校区児童見守り事業負担金

学童保育に代わり、高森東学園校区独自の見守り事業実施を支援

【目的】

高森東学園義務教育学校の児童を対象とし、スクールバス最終便までの時間、希望児童の見守りを行う。

【概要】

見守り事業を実施する地元団体に対して、町から負担金を支払い、支援する。

【経費等】

- ・町からの負担金：2,000円※×150日＝300,000円

※人件費、交通費、事務費等

【その他】

高森東学園義務教育学校ミーティングルームでの見守り予定。

事業費	補助等	一般財源
300千円	0円	300千円



埋蔵文化財発掘調査

基盤整備に伴う埋蔵文化財発掘調査

草部南部地区の農業基盤整備に伴う事前調査（埋蔵文化財の発掘調査）を実施

【目的】

平成32年の農業基盤整備着工に向け、平成28年度補正5号で計上した「地形図作成」、平成29年度当初で計上した「換地等調整」に続き、該当地区の事前調査（埋蔵文化財の有無について調査するもの）を実施する。

【事前調査に係る経費】

賃金、機械借上げ料、該当地区の作物収量の補償、派遣学芸員の旅費等

【今後のスケジュール】

・平成30年10月までに事前調査の結果を熊本県に報告。

①事前調査で本調査の必要があると判断された場合

⇒本調査（経費等については別途計上の必要有り）

②事前調査で本調査の必要がないと判断された場合

⇒農業基盤整備の着工に向けた取組みの実施



事業費	補助等	一般財源
3,713千円	0円	3,713千円

観光関係負担金①

ASO観光復興加速化委員会負担金

熊本地震復興基金交付金活用事業
（観光拠点整備等推進事業）

阿蘇地域全体の観光復興を加速化させる組織を設立し、様々な事業に取り組む

【概要】

熊本県、阿蘇郡市7市町村、阿蘇広域観光連盟（7市町村の観光協会等で設立）等で委員会を構成。

【取組内容】

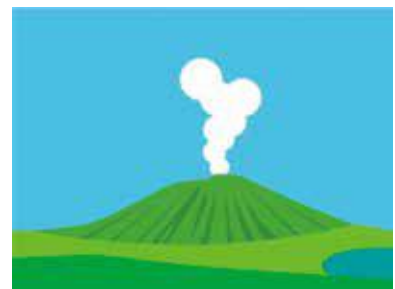
①注力事業

- ・クレジットカードや電子マネーでの決済システム導入に向けた取組み
- ・阿蘇サインガイドラインの普及・定着に向けた取組み
- ・雲海カメラの設置と配信
- ・英語版総合パンフレットの作成

②基礎事業

- ・域内の情報共有と事業者向けの情報発信（メールマガジン）
- ・パンフレットなどの相互設置

※町負担分については熊本地震復興基金交付金355千円を活用



事業費	県及び観光協会負担	市町村負担	高森町分
16,000千円	10,000千円	6,000千円	710千円

観光関係負担金②

阿蘇モビリティツーリズム負担金

阿蘇地域が一体となってバイクイベントを実施

【目的】

阿蘇地域が単なる復旧復興にとどまらず、新しい客層を開拓し、創造的復興に向かうため、二次交通が断絶している今だからこそ、バイクやサイクリングといった阿蘇地域の自然景観を楽しむことを目的とした「モビリティ・ツーリズム」を新たな観光スタイルとして定着させる。

⇒ライダーやサイクリストにとっての「聖地」確立へ向けた情報発信を行っていく。

【概要】

熊本県、関係市町村、地元事業者、経済界の協力・支援のもと委員会設立。

【主な取組内容】

- ・全国メディアとタイアップしたプロモーションの実施
- ・「Aso Bike Weeks」の実施

⇒9月29日～10月14日までの期間をBike Weeksと位置づけ、各メーカー等のバイクイベントを阿蘇地域全体において開催。



事業費	県補助	市町村負担	企業協賛金	高森町分
9,600千円	6,200千円	1,400千円	2,000千円	200千円

観光関係負担金③

阿蘇南外輪周遊広域連携事業実行委員会負担金

「九州おへそロード」の規模を拡大し、復興への歩みを加速化

【目的】

高森町・山都町・南阿蘇村・御船町・西原村を巡る「九州おへそロード」の規模を拡大し、各地の魅力を発信するためのツール開発や地域連携事業を実施する。

【概要】

昨年の長陽大橋開通に加え、今年度は九州中央自動車道「(仮称) 上野IC」が開通予定。

⇒東・北部九州からの誘客促進と増加を図る。

【取組内容】

- ・九州おへそロードのPR
 - ⇒エリア全体の情報を集約したパンフレットの制作
- ・エリア内の回遊性を高める取組み
 - ⇒レシートラリーの実施（10月中旬～1月下旬予定）
- ・幅広い年齢層を考慮した広報展開



事業費	県補助	市町村負担	高森町分
4,700千円	3,450千円	1,250千円	200千円

商店街にぎわい復興支援事業助成金

商店街にぎわい復興支援事業助成金

熊本地震復興基金交付金活用事業

熊本地震により被災した商店街等の創造的復興を促進

【支援対象経費】

商店街等団体が実施するにぎわい創出及び売上げ向上に資するイベント等に必要な経費。

【支援対象者】

- ・商店街等団体（商店街振興組合、事業協同組合、任意の商店街組織）
- ・商工会

※支援対象者については、熊本地震の影響により、地震後における来町者が地震前に比べて減少している団体等とする。

【支援対象期間】

平成31年3月まで

【交付基準】

補助率：定額（100%）

上限額：100万円、下限額：30万円

事業費	補助額	町負担分
1,000千円	1,000千円	0円



平成30年6月定例会 主な質疑応答

議案第40号

平成30年度高森町一般 会計補正予算について

質

〔佐伯金也議員〕

4月の人事異動に伴う正・臨時・非常勤・任期付職員数及び審議員の役割は。

答

〔総務課長〕

職員数については、正職員88名、臨時職員3名、非常勤職員37名、任期付職員9名、再任用9名。審議員については、職員は課長職と同等であり、外部からの審議員は高度な知識をもった専門職ということである。

質

〔佐伯金也議員〕

外部からの審議員の任期等は、何年なのか。

答

〔町長〕

税務課においては、今年度から熊本県を退職された方を徴収専門として採用したが、税務経験者として総合的な厚みをもたせるので特に定めていない。教育委員会については、CIO補佐官として、高森町新教育プランの推進を担ってもらっており、教育政策の進捗状況で変わ

ってくる。

質

〔牛嶋津世志議員〕

草部南部地区の農業基盤整備については、事前調査が行われ埋蔵文化財の発掘調査が実施されるが、幅・津留遺跡のように工事に遅れが生じ、地域住民に迷惑がかかるのではないか。

答

〔農林政策課長〕

県が吉見神社周辺で文化財を発見し、調査をしないと事業を進められないとのこと、まず試掘を行う。生活の痕跡等が見つかれば、本調査となるが、違う場所（道路側）から工事を行い、同時進行で勧めることが可能なので、遅れを生じることはないと考えている。

質

〔佐伯金也議員〕

当初の計画では、地域をグループ毎に分けてあったと思うが、もし工事が始まれば何割くらい達成するのか。

答

〔農林政策課長〕

第一草部地区の基盤整備の面積は約13ha。基盤整備を完了した場合、計画面積の約40%の達成率となる。

常任委員会報告

総務

委員会に付託された「高森町国民健康保険条例の一部改正」、「平成30年度高森町一般会計補正予算」、「平成30年度高森町一般会計補正予算」、「平成30年度高森町鉄道経営対策事業基金特別会計補正予算」については、担当者から詳細に説明を受け、審議した結果可決した。

◎高森町国民健康保険条例の一部改正関係

「国保税の事務が税務課に移行したが、健康推進課との事務分担はどうかになったのか。また、それにより事務の効率化は向上するのか」との質問があり、「賦課徴収事務のみが税務課に移行、事務の効率化については、検証はこれからだが問題点があれば修正し、住民サービスの低下がないようにしていく」と答弁があった。

◎平成30年度高森町一般会計補正予算関係

「コミュニティ補助金の上限についての質問に「事業費の5分の3以内で上限額は1,500万円である」、「地域おこし協力隊の現在までの採用人員と今後の募集人員について」の質問に「昨年から継続採用1名に加え4月に6名を採用、7月に2名を採用する。現在4名を継続募集している」と答弁があった。

その他、ASO観光復興加速化委員会、阿蘇モビリティツーリズム実行委員会等の質問があった。

文教厚生

委員会に付託された、「平成30年度高森町一般会計補正予算」、「平成30年度高森町国民健康保険特別会計補正予算」については、担当者から詳細に説明を受け、慎重に審議を行い可決した。

◎平成30年度高森町一般会計補正予算関係

（高森東学園校区児童見守り事業について）

「質 スクールバスの最終便の時間までこのことだが、最終便の時間は、また、どの部屋を使用するのか。」

「答 バスの時間については、夏期は18時、冬期は17時、17時半頃となっている。使用する部屋については、ミーティングルームを想定している。」

「質 実施事業所は。」

「答 地元協力者による任意団体に活動をお願いする。」

「質 見守り時の事故対応などを心配するが、地元だけで協力者が集まるのか。実施については家族から承諾書等を取っておくべきではないか。」

「答 スポーツ保険を利用して対応する。保護者とも事前に協議をする。利用申請時に承諾書若しくは同意書という形でいただく予定で様式を準備中である。」

建設経済

委員会に付託された、「平成30年度高森町一般会計補正予算」及び「平成30年度高森町簡易水道事業特別会計補正予算」は、担当者から詳細に説明を受け、審議した結果、全委員異議なく可とすることに決定。

◎平成30年度高森町一般会計補正予算関係

「質 平成32年度事業実施を予定している草部地区の基盤整備事業において、今回埋蔵文化財の調査が必要とすることで補正予算（総額2,915千円）が計上してあるが、対象農地すべてか。」

「答 対象農地は、田が52枚、畑が6枚で、すべての農地にかかる予算を計上した。」

今後、平成30年10月までに事前調査の結果を熊本県に報告する。

「質 ガラスハウス公売に係る不動産鑑定委託料が計上してあるが、当委員会としては、公売だけでなく、農林政策課サイドで利活用を考えることも必要と感じるが。」

「答 公売するとなると不動産の鑑定が必要となることから、予算計上したものである。質問のとおり、農林政策課サイドで利活用を考えて、関係機関で協議を行っていく。」

「質 アグリセンターへ堆肥を購入に行ったが、品不足状況にあった。販売量が増し不足していたのであれば問題はないが。」

「答 販売量も増加しているが、完熟堆肥とするため時間が掛かっていることも不足状況を生む要因ともなっている。今後十分対応する。」

◎平成30年度高森町簡易水道事業特別会計補正予算関係

「質 町内の埋設水道管の布設替え計画は。」

「答 対応年数を超える水道管もあり、年次計画で布設替えを計画している。」

駅周辺グランドデザインと防災

商工会館の移転に対する助成は



町長

助成は考えていない

質問 高森駅周辺再開発グランドデザイン計画の中で、商工会館が、地震の影響で延期になっている。移転に対して助成する考えはあるのか。また、駅駐車場前の空地は、グランドデザイン計画の中に入っているのか。

町長 商工会が借りている建物の土地は、高森町の所有であるが建物は、阿蘇広域行政事務組合の所有であり、築45年以上が過ぎているので、安全性の面からも移転が望ましい。商工会館の移転については、商工会会長と合議済で、助成は考えていない。駅駐車場前の空地は、私有地で今回のグランドデザインの対象には含まれていない。必要であれば今後検討する。

質問 駅前公園敷地内に建設予定の地区公民館は、防災機能を備えた建物としてあるが、高森駅周辺には防火水槽がない。新しく建設する予定があるか。

町長 高森駅周辺の防火水槽は以前から、地域住民の要望があり西側に新しい住宅も増えていることから、駅駐車場の南側高森西踏切の近くに建設予定。耐震性の埋め込み型水槽40tを建設する。11月までには竣工したい。

町長 集客・経済効果を目的に全国の地域おこし協力隊を高森町に迎えて、「地域おこし協力隊全国サミット」の開催に向けて検討する。

質問 地域おこし協力隊は現在どの事業で、何名活動されているのか。協力隊との交流で活動報告会の開催予定はあるのか。

町長 地域おこし協力隊は国からの特別交付税措置で、最長3年間活動してもらえ。この制度を利用して事業9分野で13名を募集し現在、6事業で6名活動中であり、7月に2名着任される予定である。その他の事業で4名募集中だ。協力隊の活動報告会も計画する。

町長 高森駅周辺の防火水槽は以前から、地域住民の要望があり西側に新しい住宅も増えていることから、駅駐車場の南側高森西踏切の近くに建設予定。耐震性の埋め込み型水槽40tを建設する。11月までには竣工したい。

町長 集客・経済効果を目的に全国の地域おこし協力隊を高森町に迎えて、「地域おこし協力隊全国サミット」の開催に向けて検討する。

その他の質問 南阿蘇鉄道沿線地域公共交通網形成計画について

駅周辺グランドデザイン。再開発作成事業

事業の概要は



政策推進課長

将来像及び再開発年次計画を作成するもの

質問 「南阿蘇鉄道高森駅 周辺再開発グランドデザイン 作成事業」は、平成30年度において、実施することを決定したものである。

町長 町の拠点の一つである高森駅周辺の将来像を描くという重要な事業であり概要について説明を願う。

政策推進課長 2022年度予定の、南阿蘇鉄道の全線復旧を見据え、「南阿蘇鉄道沿線地域公共交通網形成計画」に掲げる取り組みを確実に推進するため、高森駅周辺の再開発に着手し、熊本地震からの創造的復興を達成するための将来像及び再開発年次計画を作成するものである。

具体的内容として、
①高森駅芝生広場周辺の公園化、②高森駅前公園敷地内への地区公民館建設、③高森駅前駐車場に

▶建替え予定の高森駅舎



展示しているSLの有効活用、④高森駅舎の建替え、⑤高森駅を中心とした阿蘇の周遊性を創出する全体構想を想定している。
事業費は、2,500万円で全額を高森町復興基金から充当する。

平成30年 第4回 高森町議会臨時会

【平成30年4月26日開会】



高森町監査委員
古庄 良一 氏

人事案件

高森町監査委員を選任

前監査委員の退職申出により、その後任として古庄良一氏を選任。
任期は平成30年5月1日から4年間。

一般会計補正予算

補正予算の主なものは次のとおり

- ・大相撲阿蘇高森場所の開催 695万8千円
- ・くまもと国際マンガキャンプin阿蘇高森の開催 1,058万9千円

専決処分の承認

平成29年度補正予算3件及び条例の一部改正5件について承認



田上 更生 議長

熊本県町村議会議長会会長に 田上議長就任

平成30年5月22日に開催された熊本県町村議会議長会の臨時総会において、
田上議長が会長に就任されました。

議会報告会報告

議会報告会を、5月16日・17日の2日間4会場で開催致しました。ご多忙の中ご参加いただき、有難うございました。会場ごとに意見の集約を行い、町との検討の結果、次のとおり要約して報告いたします。

草部会場（出席者：29名）



▲草部会場

質 自然学校の部分改修をお願いしたい。校舎と体育館の通路に壁を！給食室の床を木に替えてほしい。

答 必要な維持管理については、その都度対応しております。他の要望については、今後の課題とさせていただきます。地元でも検討ください。

質 町道の維持管理について要望する。

答 現在改良中の路線や、白線の引き直し等を行っていますが、限られた予算の中からは行っており、必要な箇所の改良は随時行います。

高森会場（出席者：14名）

【質】色見の別荘地に、消火栓・防火水槽がない。

【答】年内に40tタンクを、建設します。
場所は、広域農道沿いの町有地で、現在は山林の伐採が終わり、入札の準備中です。

【質】広域農道沿いに90戸ほどの集落があるので、
駐在区を作ってほしい。

【答】この地域で何度か話し合いをもちました。まずは駐在区を作っていただき、地域の総意として陳情いただきたいと思います。

【質】危険な空き家等が問題化しているので、議員
からも働きかけをしてほしい。

【答】私的財産についての対応と成りますので、所有者との交渉が必要と成り、明らかな事案が発生しない限り、難しい問題であると捉えています。

色見会場（出席者：13名）

【質】色見体育館への進入路として、下の町道からの道路を要望しているがどうなっているか。

【答】平成30年度に色見地区避難所整備事業で、町道中園・つば山線を繋ぐ工事を行います。要望されている西丁・角河原線に接続する新設路線については、今後、検討いたします。

【質】自主防災組織が有事の際機能するためには、
町と消防が主体となるべきではないか。

【答】有事の際は当然ながら、町と消防団が主体となって活動いたします。まずは、自主防災組織の立上げにご協力ください。

【質】TPCの有料化はいつからか？なぜ計画どおりにやらないのか。

【答】検討委員会から提言書が出され、過疎債で措置されている期間は無料としますが、有料化の必要が生じた場合は、前年度に再検討します。

【質】防災士の位置づけと処遇等を明確にすべき。

【答】早急に協議会を立ち上げて、処遇等を協議します。

【質】図書館建設は出来ないのか。

【答】高森中学校で地域コミュニティとして実施しました。また、高森高校が図書室を開放しましたが、利用者が少ない状態でした。今後は、複合施設の中に図書館を含めて検討します。

野尻会場（出席者：27名）

【質】野尻のヘリポート建設はどうなっているのか。
同様に、河原生涯学習センターグラウンドへもヘリポートを作ってほしい。

【答】野尻地区、草部北部地区全体の計画見直しも含めて、担当課と嘱託駐在員との会議を持つよう依頼しました。

【質】介護保険料の値上げについて不安である。

【答】高齢化でやむをえないが、予防策として住民検診を受診してもらい、保健師への相談や早期発見や治療に努め、値上げの抑制につとめます。

【質】朋遊館は閉鎖したが、高森温泉館は閉鎖しないのか。

【答】高森温泉館について、今年度中に売却することが決まっており、6月定例会で具体的な手続きに必要な予算を計上しました。

【質】尾下・中地区の太陽光建設について、いかなる対応をされるのか。

【答】地方創生特別委員会に対応するようにしています。

町民の声

～私の願い～（記憶の中から）

5歳頃の出来事でした。土手の雑木を切り落とす作業をしていた父の近くで、私も小枝を投げて遊んでいました。ところが、勢い余って小枝もろ共私も滑り落ち、畑に残っていた唐黍の株で左肩の上を切ってしまいました。父は蓬を揉んで止血し、刻み煙草をザックリあいた傷口に詰め込み、私を背負って黒岩峠を下り町の病院へ運びました。峠を下る時見えたのが、高森駅から立ち昇る蒸気機関車の黒煙と、ポーポーという汽笛でした。大丈夫だ、我慢しろと、まるで私を励ましてくれているようでした。その後、このSLには何度も乗りました。車内に煙が充満したり、煤で顔が真っ黒になる事もありましたが、皆笑顔に満ちていました。そのうち、蒸気機関車SLはレールバスに姿を変え、いつの間にか車掌さんも居なくなりました。蒸気機関車SLが南阿蘇を走る姿をもう一度見たい、それが私の夢であり、願いでもあります。

私は、飲料水会社で働いていた事があります。重いサイダー瓶の箱を担ぎ、車の行けないお客さんの所迄運ぶ仕事は、痩せこけた私の体も心も潰れそうでした。そんな時、子どもの頃読んだ1冊の童話が浮んできたのです。これ迄、辛い事に私が耐えられたのは物語の主人公、ジャン・バルジャンのお陰かも知れません。たかが絵本、されど絵本。1冊の絵本との出会いが後の、その人の生き方に影響する事もあるのです。

町内では、子どもたちに絵本の読み聞かせをされている方がおられます。きっと、強い優しい子どもに成長するでしょう。町民の声欄でも、図書館や文化ホールの必要性が訴えてありました。「体」の面では、高スポ活動が効果を挙げています。「心」の面でも、様々な地道な活動が続けられています。合唱、器楽、踊り、陶芸、文芸、伝統芸能等々。町民誰れでも利活用出来る、統合型文化施設が南郷高森にも必要ですね。私の願いでもあります。



那須 哲憲さん
(矢津田・小村)



山邊 健二さん
(高森・昭和)

私が32歳の時、昭和52年4月に高森小学校に赴任し、5年間勤務しました。初年度は4年生の担任になり5年生、6年生と持ち上がり、その時の子どもたちは今年50歳になります。4年目は複式学級を担任し、5年目は5年生を担任しました。

赴任した年のPTA総会の後、上学年の保護者数名の方から私に是非ともソフトボール部を立ち上げてほしいと熱のこもった要望があり、後日、職員会議の結果部活動が認められ、私がソフトボール部を担当することになりました。

女子の参加もあり、男子ソフト部、女子ソフト部をつくり、熱心な保護者の協力のおかげで、部活動ができたことを思い出しています。

そのようなことで、高森町の50歳前後、中堅としての一人一人が、それぞれの立場で頑張っている姿は、素晴らしく、頼もしく思えてなりません。

私は40歳の時に家を建てました。どこに建てるか連れ合いと相談し迷いましたが、高森にきめました。それは、11歳の息子、8歳の娘にとっては高森町が故郷だからです。また、教え子・保護者・高森高校の同級生・社会人ソフトボールの仲間、役場職員の方々等掛け替えのない人達に恵まれていたからです。さらには、外国の人には、阿蘇山は「マイガーデン」と言える事と、職業柄通勤にも便利な位置であると思ったからです。

高森小学校の次は、高森町教育委員会・長陽村教育委員会・熊本県教育委員会（社会教育課）・知事部局（県民生活課）・阿蘇教育事務所・上色見小学校（教頭）・高森小学校（教頭）・国立阿蘇青年の家・蘇陽小学校（母校校長）・中松小学校（校長）定年退職・退職後1年間は阿蘇市教育委員会勤務。

退職後2年目から高森町への恩返しの気持ちで、色々な事をやらせていただいています。かかわる人達みんな思いやりの心を持ち協力的で、やりがいを感じています。

長男は東京、娘は静岡に住んでいますが、帰って来ると言ったら、喜んで迎え入れます。小学生の孫がいますので、普通であれば学校が心配になると思いますが、高森町ではその心配はいりません。それは、「高森に誇りを持ち、夢を抱き、元気の出る教育」を目標に掲げた、日本学校教育の最先端をいく「高森町新教育プラン」により学校教育が着実に進められているからです。

首長部局・議会・教育委員会のスピード感を持った、前向きな取り組みができて高森町、そして、人情味あふれる人が沢山住んでいる高森町、私は誇りに、思っています。

最後に、現在座右の銘にしている言葉は

人に接するときは、春のような温かい心 仕事をするときは、夏のように燃える心
物を考えるときは、秋のように澄んだ心 己を責めるときは、冬のような厳しい心 です。

養護老人ホーム「湯の里荘」が完成

熊本地震の発生により、施設復帰が困難な状況となっていた養護老人ホーム「湯の里荘」の移転新築工事が30年5月に完成し、6月16日（土）に落成式が行われました。入所するには条件がありますので、詳しくは住民福祉課福祉係へお尋ねください。



編集後記

6月のことを別名「水無月（みなづき）」といいますが、なぜ梅雨の雨の多い月なのに水の無い月なのでしょうかね。気象庁の予報では今年の梅雨は、例年より雨量はやや多く梅雨明けも遅いとされております。どうか災害の無い「災無い月」となるよう祈りたいものです。 芹口 誓彰

議会広報特別委員会

議長 田上 更生

委員長 興梠 壽一 委員 芹口 誓彰

副委員長 牛嶋津世志 “ 後藤 三治

